

平成25年度 第9回応用セラミックス研究所教授会議事要録

日 時 平成26年1月22日(水) 午前10時00分～午前11時25分
場 所 大学会館 集会室1
出席者 伊藤所長, 笠井, 原, 真島, 佐々木, 東, 川路, 坂田, 河野, 若井,
谷山, 鎌田, 笹川, 中村, 松下, 篠原, 山田, 佐藤, 赤津, 阿藤, 須崎, 林(克)の各教員
定足数の確認 現在員25名, 公務欠席3名, 定足基礎数22名, 定足数15名, 出席者22名で成立

配布資料

- 平成25年度第8回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案), 書面審議(1月14日) 議事要録(案)
- 1. 東京工業大学における客員研究部門又は客員教員に準ずる学外研究機関との準客員方式に基づく研究の実施に関する規則第2条に基づく承認申請書
- 2. 研究生の入学について
- 3. 平成25年度学術講演講師
- 4. エラスムス・ムンドゥスの実施に関する協定書について
- 5. 平成25年度物品実査状況結果報告
- 6. 平成25年度末書類提出期限について
- 7. 平成25年度第9回応用セラミックス研究所企画運営委員会議事要録(案)
- 8. 平成25年度第10回応用セラミックス研究所安全衛生委員会・第10回応用セラミックス研究所安全衛生委員会議事要録(案)
- 5. 第97回応用セラミックス研究所共同利用・研究支援室会議議事要録(案)

席上配付資料

- 1. セラミックス機能部門准教授再任審査結果報告
- 2. セラミックス解析部門准教授再任審査結果報告
- 3～4. 平成26年度客員研究部門(国内)教授候補者履歴・業績一覧
- 5. 平成26年度客員研究部門(外国人)教授候補者履歴・業績一覧
- 6. 東京工業大学特別研究員称号付与申請書

○議事に先立ち, 1月1日付採用の鎌田慶吾准教授及び佐藤大樹准教授から挨拶があった。

議事要録の確認

平成25年度第8回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案)及び書面審議(1月14日) 議事要録(案)を承認した。

議 事

○審議事項

1. 任期付教員の再任審査について

伊藤所長から, 任期付教員2名(セラミックス機能部門 准教授1名, セラミックス解析部門 准教授1名)の再任審査結果報告の提出があった旨の説明があり, 該当教員2名に退席していただいた後, 再任審査委員会委員長の佐々木教授から, 席上配付資料1, 2に基づき審査内容の説明があり, 可否投票の結果, 両名の再任を承認した。

◇議題2・3の客員研究部門等の教員選考について

伊藤所長から, 客員研究部門等の教員選考にあたっては, 学内規則により, 選考委員会から報告を受けた教授会は「原則として投票」によりその可否を決定することとなっているが, 応用セラミックス研究所の慣例により, 本会議の審議・承認をもって可否を議決することとしたい旨説明があり, 了承を得た。

2. 平成26年度客員研究部門（国内）教授候補者の選考について

伊藤所長から、席上配付資料3、4に基づき、平成26年度客員研究部門（国内）教授候補者2名について説明の後、それぞれの受入教員から補足説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 平成26年度客員研究部門（外国人）教授候補者の選考について

伊藤所長から、席上配付資料5に基づき、平成26年度客員研究部門（外国人）教授候補者1名について説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 東京工業大学特別研究員の称号付与について

伊藤所長から、席上配付資料6に基づき、東京工業大学特別研究員の称号付与について説明の後、研究担当教員の中村准教授から補足説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 東京工業大学における客員研究部門又は客員教員に準ずる学外研究機関との準客員方式に基づく研究の実施に関する規則第2条に基づく承認申請について

伊藤所長から、資料1に基づき、平成26年4月1日付で九州大学へ転出する林克郎准教授の研究継続のため、セキュアマテリアル客員研究部門を設置したい旨、説明があり、審議の結果、これを承認し、役員会及び教育研究評議会へ付議することとした。

6. 研究生の入学について

伊藤所長から、資料2に基づき、研究生の入学2件について説明の後、それぞれの指導教員から補足説明があり、審議の結果、これを承認した。

7. ヘリウム回収配管について

川路教授から、ヘリウム回収配管については、来年2月までに回収装置の設置と各建物までの配管が完了する予定であるが、各建物内への配管については部局の判断が求められており、R3棟、J1棟、R3-D棟毎に最上階まで配管した場合の見積額の説明があり、キャンパス全体でまとめれば見積額の減額が想定されるため、応セラ研としてキャンパス全体でまとめる案に参加するか検討願いたいとの発言があり、議論の結果、応セラ研としては、金額次第ではあるが、基本的には全体でまとめる案に参加することに決定した。

○報告事項

1. 学術講演講師について

伊藤所長から、資料3に基づき、学術講演講師5名について説明・報告があった。この内4名の講師（外国人）について、松下准教授から、岡田清教授（理事・副学長）の最終講義は大岡山で行われるが、すずかけ台では英語で講演を行うシンポジウムを開催する予定で、そのために外国人の講師をお呼びした旨、補足説明があった。なお、シンポジウム終了後、すずかけホールにて退職記念パーティーを開催する予定である旨、併せて説明があった。

○諸会議報告

伊藤所長から、諸会議報告については、所内のホームページに掲載しており、事前に確認していると思うので、質問があればこの場で受ける旨の発言があり、以下について報告があった。

1. 教育研究評議会（1/10）

1) 大学元教員の懲戒処分相当について

2) エラスムス・ムンドゥスの実施に関する協定書について（資料4）

2. 部局長等会議 (12/20, 1/10)

- 1) 国立大学のミッションの再定義 (工学分野) について
- 2) 平成 26 年度運営費交付金等内示概要について
- 3) 平成 25 年度物品実査状況結果報告について (資料 5)
 - ・廃棄をしているが帳簿上の手続きがされていない物品が増加している。
- 4) 平成 25 年度末書類提出期限について (資料 6)
 - ・伊藤所長から、資料 6 に基づき、年度末書類の提出について注意喚起があり、次いで、会計課長から、3 月までに納品されても請求書が到着していない場合などは、会計課の各担当グループへ相談していただきたいとの発言があった。
- 5) 人件費 1 % 減の行方について
- 6) 大岡山南地区の PH 異常について
- 7) 研究室の掃除でワックスの剥離剤を使用した場合の処理について

3. 5 部局長懇談会 (1/10)

- 1) すずかけ門～広場階段手摺りの設置について
 - ・降雪時の通路での転倒事故対策としていたが、本年度は予算がないため、見送りとなった。
- 2) すずかけ祭寄附金の実施について
 - ・伊藤所長から、平成 26 年度のすずかけ祭実施にあたり、実施経費が 10 万円程度不足することが想定されるため、教職員対象に 1 口 1,000 円で寄附金を募ることになった旨説明があった。次いで、総務課長から、近日中に寄附募集のメールを送信する予定であり、カード決裁や振込以外にも事務室で寄附を受付する旨、補足説明があった。

4. 5 研究所長懇談会 (1/10)

- 1) 四大学連合文化講演会について

5. 企画運営委員会 (1/8) (資料 8)

※重要な事項は今回の教授会の議題として挙げられているので、特に報告事項はなし。

6. 応用セラミックス研究所安全衛生委員会・応用セラミックス研究所ブロック安全衛生委員会 (1/15)

伊藤所長から、資料 8 に基づき、以下の事項について説明報告があった。

- 1) 事故報告について
- 2) 緊急連絡網について
- 3) 安全パトロールについて

7. 共同利用・研究支援室会議 (1/8)

笠井支援室長から、資料 9 に基づき、次の事項について説明・報告があった。

- 1) 平成 26 年度共同利用研究募集開始について
- 2) 立教女学院受入れ実施報告 (12/18)
- 3) 四セラ研合同講演会 (12/25)
- 4) 共同利用・共同研究拠点 平成 26 年度年度計画について
- 5) 平成 25 年度より実施した共同利用報告書にパワーポイントファイルを添付することについて
- 6) R3 棟 1 階ロビーのディスプレイについて
 - ・各分野の担当者にディスプレイに表示する動画の作成を依頼した。

7) 応セラ研HPのトップページについて

- ・既存の応セラ研のロゴをもとに、HP用にレイアウトを変更した。

8) 非常勤研究員について

9) 若手（助教）の発表会について

- ・2月の教授会（2/19）の午後に実施することになった。

8. その他

1) R3棟低層棟のアスベスト処理について

伊藤所長から、今年度実施予定の低層棟改修に伴い、旧喫煙室、自動販売機、純水製造機周辺の天井裏にアスベストがあるため、改修工事と併せて処理する予定であるが、その際、2週間ほど高層棟と低層棟の行き来ができなくなるが、今回の処理でR3棟のアスベストは全て処理が完了するため、ご協力いただきたいとの発言があった。なお、工事の日程については、通知があり次第周知する旨、説明があった。

2) 退職した教員が使用していた部屋の改修について

伊藤所長から、R3棟には退職した教員が使用していた空き部屋がいくつかあるが、修繕が必要なため、昨年行った予算の追加配分は行わず、空き部屋の改修費に充てる旨、説明があった。

以 上